彩

11画

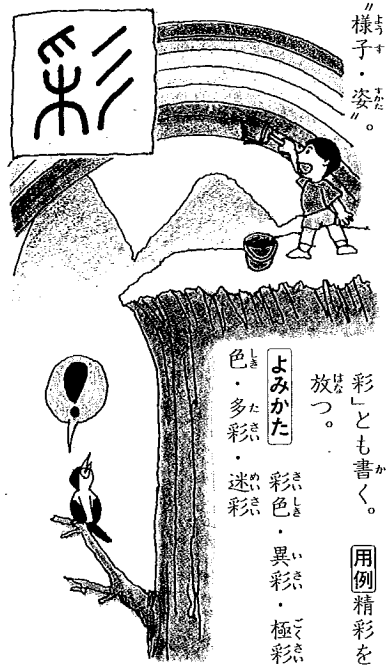
一 ぺ 彡 彡 彩 彩 彩

とめる

音 サイ

訓 いろどる

なりたち 筆で描くことを表した彡と、選び取る意味の采との会意形声字。多くの色の中から選んで"いろどる"ことを表した字。"いろどり・模様・飾り"。転じて、"美しい"という意味に使われる。また、"様子・姿"。



いみとじゅくご

▼いろどる。えがく。彩管…色を塗る筆。絵筆。水彩画…水溶性の絵の具を使って描いた絵。

▼いろどり。美しい模様。色彩…いろどり。色合い。淡彩…淡い色彩。例淡彩画

▼美しい。あざやかな。光彩…美しい輝き。用例光彩を放つ姿。(あざやかに目立つ様子。)精彩…生き生きとした様子。あざやかに目立つ様子。「生彩」とも書く。用例精彩を放つ。

よみかた 彩色・異彩・極彩色・多彩・迷彩

彩浮

浮

10画

氵 氵 氵 氵 浮 浮 浮

左下へはらう

音 フ

訓 うく・うかれる・うかぶ・うかべる

なりたち 子を抱き上げる意味の孚と水との会意形声字。水に抱かれたような状態、つまり"うく"ことを表した字。"うく・うかぶ"こと。

いみとじゅくご

▼うく。うかぶ。浮沈…浮き沈み。特に暮らしむきの浮き沈み(栄えるか衰えるか)。用例一生の浮沈にかかわる事だ。

浮力…液体や気体が、中にある物を浮き上がらせようとする力。

浮上…❶水中から浮かび上がること。❷順位がよくなること。

▼よりどころが無い。浮説…根拠の無いうわさ。浮浪…一定の住居も職も無く、さまよい歩くこと。

▼かるがるしい。浮ついている。

浮薄…心が浮ついて、行いがかるがるしいこと。

よみかた 浮世絵・浮標

さんこう 特別なよみかた→浮気・浮つく

緩

15画

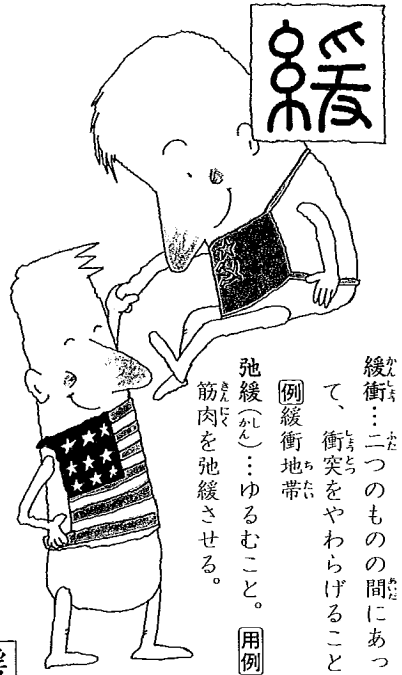
糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

左下へはらう

音 カン

訓 ゆるい・ゆるやか・ゆるむ・ゆるめる

なりたち 引っぱる意味の爰と糸との会意形声字。糸を引っぱって、張りを"ゆるめる"ことを表した字。爰は手に物を持った形の爭の下に、手の意味の又を加えて、"引っぱる"ことを表した会意字。



いみとじゅくご

▼ゆるめる。ゆるやか。緩急…❶緩やかなことと厳しいこと。ゆっくりしたことと速いこと。❷危急。さしせまった危険。用例一旦(いったん)緩急あれば援助に駆けつける。

緩慢…ゆっくりとしていること。用例動作が緩慢なので注意された。

緩和…ゆるめ、やわらげること。用例国際間の緊張を緩和する。

緩衝…二つのものの間にあって、衝突をやわらげること。例緩衝地帯

弛緩(しかん)…ゆるむこと。用例筋肉を弛緩させる。

緩暖

暖

【6年】

13画

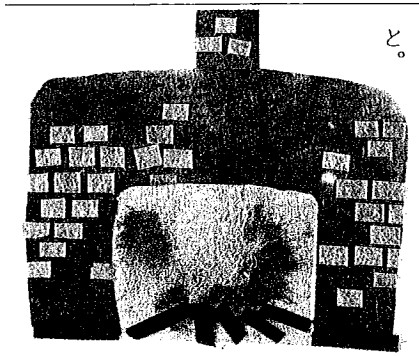
日 日 日 日 暖 暖 暖

左下へはらう

音 ダン

訓 あたたか・あたたかい・あたたまる・あたためる

なりたち 引き入れる意味の爰と日との会意形声字。日の光を引き入れて"あたたかい"ことを表した字。また、"あたたまる"こと。"あたためる"こと。



いみとじゅくご

▼あたたかい。暖気…❶暖かい気候。❷暖かい空気。

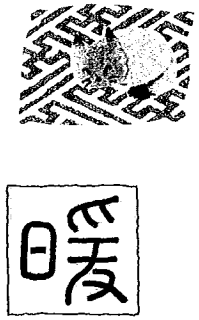
暖流…赤道の方から温帯に向かって流れる暖かい海流。

暖色…見る人に暖かい感じを与える色。赤や黄系統の色。

暖衣…暖かい衣服。例暖衣飽食(満ち足りた生活のたとえ。)

寒暖計…温度を計る器械。

▼あたためる。暖房…部屋の中を暖めること。反冷房

暖炉…火をたいて部屋を暖める装置。

よみかた 暖冬・温暖・春暖